

7. 道徳の時間の指導

(1)道徳の時間の指導構想図

研究の視点

指導目標や指導内容の視点・資料の特性に基づいた資料分析

- 学習指導要領の指導内容の熟読と確認
- 発達段階・資料の内容に合わせた主題設定
- 低・中・高学年ブロックなど複数教員での資料分析研究



複数の教員で資料と学習指導要領解説を読み、この資料で「内容項目の指導の観点」の中のどの部分について考えさせるのかを決める。そして、道徳的な出来事や主人公の気持ちの変化について、複数の目で資料を深く読んでいく。

発問の工夫と指導過程・指導方法の工夫

- 学級実態の把握
- 複数の指導過程での研究
- 発達段階に応じた発問と指導方法の研究
- 模擬授業等による事前研究



道徳的価値に向かう児童の反応を予想しながら発問や展開を考え、学習指導案を作成していく。考えた発問で予想した反応が期待できるかどうか、模擬授業で意見を出し合う。

価値理解・他者理解・自己理解を促す工夫

- 登場人物の生き方に内在する道徳的価値の分析
- 展開前段・後段での話し合い活動の活性化の工夫
- ワークシート・道徳ノートの工夫

教師の発問に答えたり、友だちの意見を聴いたりしながら、子どもたちは資料の中の道徳的価値について考えを深めている。また、主人公の気持ちを考えたり、ワークシートを書いたりしながら、「自分だったらどうだろう…」と自己をふり返っている。子どもたちが道徳的価値についての気づきや理解を深め、自分を見つめていけるような授業を仕組んでいきたい。

指導内容項目

低:16 中:18 高:22
◇は共通重点内容

自主自律

信頼友情

家族愛

生命尊重

指導内容項目

低:16 中:18 高:22
◇は共通重点内容

導入

展開前段

後段 展開

終末

価値への導入

- ◇心のノートの活用
- ◇児童作文
- ◇生活をふり返る

資料への導入

- ◇音声による導入
- ◇写真による導入

他教科等との関連を図った導入

- ◇各教科 ◇総合的な学習の時間 ◇特別活動 ◇外国語活動 ◇学校・学年の行事 等

価値や資料への方向付け……自己理解やこれまでの価値理解

資料提示の工夫

- ◇資料の読み聞かせ・暗誦して語る
- ◇役割分担による読み聞かせ
- ◇挿入絵やキーワードの活用
- ◇資料の映像化・音楽音声(CD)の活用



話し合いの工夫

- ◇ペアトーク・グループトークの活用
- ◇意図的指名
- ◇切り返しの発問やゆさぶりの発問
- ◇心のものさしの活用

表現活動の工夫

- ◇役割演技や動作化

書く活動の工夫

- ◇ワークシートの活用

板書の工夫

- ◇構造的な板書の工夫



自分の体験を振り返ったり、考えを確かめたりする

……価値理解、他者理解、自己理解

経験を想起させる工夫

道徳的価値と自分とのかかわりについて考えを深める

……より確かな価値理解、自己理解

思いや考えをまとめる工夫

- ◇心のノートの効果的な活用 ◇ゲストティーチャーによるお話 ◇手紙の活用
- ◇映像・CM・格言・詩・ことわざの活用 ◇児童作文・日記の活用 等

自己の生き方について考える……未来に向けた自己理解

道徳推進教師を中心とした道徳教育の推進

〇〇するようにしよう

態度

よし〇〇しよう

意欲

〇〇することは大切なんだ

判断力

〇〇すると気持ちがいいなあ

心情